

会議名	第1回北栄町行政改革審議会						
日時	平成31年3月25日（月）			開会 13：30			
				閉会 14：52			
場所	北栄町役場大栄庁舎3階 第1委員会室						
会議日程	1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 報告事項 5 その他 6 閉会						
出席者	職名	氏名		職名	氏名		
	会長	千葉 雄二		副会長	野津 伸治		
	委員	光村 哉智代		委員	濱田 登喜治		
	委員	奥田よしの子		委員	廣芳 洋一		
	委員	徳山 邦子		委員	増田 孝二		欠
	事務局	手嶋 俊樹		事務局	小澤 靖		
	事務局	原田 浩二					

【概要】

●自己紹介

平成30年5月16日付けで農業関係選出の日置健生委員に代わり委員登喜治委員を委嘱したため、全員で自己紹介を行った。

●報告事項

平成30年度の行政改革の取組み事項を報告した。

- ア 窓口・庶務業務民間委託
- イ 行政改革プラン進捗管理
- ウ 未利用町有地の売却
- エ 不要財産の売却

会議録（報告事項）

<窓口・庶務業務民間委託の取組みについて>

委員：受託者の株式会社共立メンテナンスの所在住所はどこですか。

事務局：本社は東京都です。

委員：県内の事業所はどこにあるのですか。

事務局：県内は境港に営業所があります。

委員：通常は資料に記載があるべきものなのに何も書いていない。県内の住所でいいので教えてもらえますか。契約書の記載が本社なら、本社の住所でいいです。

事務局：東京都千代田区外神田2丁目18番8号です。

委員：資料に記載の契約額は3年分ということでよろしいでしょうか。

事務局：その通りです。

委員：委託に出された業務は15業務と窓口業務ということですが、今後、範囲を拡大して効果を出していくという可能性はあるのでしょうか。

事務局：なるべく委託に出し、業務をスリム化したいということもあり、各部署に委託に出せる業務がないか照会し、追加することができないか受託者と協議を行ったところですが、今後も追加をしていきたいと考えているが、3年間で契約を締結しているため、なかなか難しい。3年後の契約更新の際に、追加も含めて契約をし直すという形になると思いますが、受託者も慣れられて、効率的に業務をこなせる部分もでてくると思いますので、毎年協議は行っていきたいと考えています。ただ、やはり大幅な見直しは契約更新の時と考えています。

委員：受託者は東京の会社ですが、委託業務で働いておられる方は地元の方ですか。

事務局：今は地元の方で募集をかけられて、社員として雇用しておられます。ただ、最初は慣れないということで、本社等から応援の社員が来ておられました。

委員：地元の雇用拡大にもつながっているということですね。それは、要望としてだされているということですか。

事務局：そうです。

委員：職員数の推移をみると、平成28年29年度でけっこう職員数が増えてきていますよね。そのへんがどういった背景なのか説明いただくとありがたいです。

事務局：全部は把握していないが、地方創生の関係で移住であったり、観光を充実することによって、外部の方に来ていただく機会を増やすということで、平成29年度に観光交流課を創設しまして、その職員が増えたということもありますし、福祉関係で増えたということもあります。

副町長：補足をさせていただきますと、ちょうどこの頃にこども園で育休にはいたりとか、全体を見直す中で正担任が足りないという状況がありまして、10人程度増えていますが、3～4人はこども園の職員でした。あとは、観光交流課が新しくできたことと、専門性のある社会福祉士とか保健師、その辺を増員したもので、事務職は増えていない。これからはあん

まり増やさないようにしていきますけども、昨年度は少し増えているので、そこはしっかり調整させていただきたいと思います。

委員：民間委託の評判はどうですか。

事務局：最初の頃は電話の転送を間違ったりということがあったが、今は慣れて落ち着いてきている。あと、窓口業務につきましては、7か月を目途に、アンケートをとって住民の評価を取りたいと思っている。特段今は悪い評判は聞いていない。

委員：この委託業務に何人の方が働いておられるのですか。

事務局：北条、大栄の窓口、庶務業務全部で13名です。

委員：30年度は10月から半年でだいたい正職員1人分の人件費が削減できるような考えですよ。来年からは、1年間とおしてになるから2～3人分の人件費が削減されるということによろしいですよ。

事務局：資料の考え方が、正職員760万円で試算していますので、平成31年度でいくと1,940万円の削減効果をみていますので、単純に正職員の人件費でいくと、2.5人分程度の削減効果ということです。ただ、資料は正職員、臨時職員の増減分の積上げですので、単純に正職員だけではないということです。

委員：職員数の推移で、30年度、31年度のほぼほぼの予定を資料に書けるとは思いますが、出ていないというのはどういうことでしょうか。

事務局：職員数の推移は、委託前に議会に提出した資料ですので、そこから更新をしておきませんので、記載できておりませんでした。また、数値も今は持ち合わせておりません。申し訳ありません。

委員：ここでいう人件費は、役場がひとりの職員に対して支払う給与分のみを指しているのでしょうか。それとも、例えば退職手当引当金だとかいろいろなものを含めたものなのでしょうか。

事務局：町がひとりの職員に対して支払う給与、社会保険料、退職手当組合負担金すべてを含んだものです。

委員：県が外郭団体に指定管理させたりなんかしているんだけども、それで町村もやってきたんだけども、この3年間で6,500万円っていう削減効果はほんとで削減できる数字なんですか。予算に対する請差でみると170万円しか減になっていない。ほんとにこの数字は合っているのか。

事務局：計画どおりに職員が削減できれば、言われた削減効果は出せるものとして試算している。計画どおりに削減できなかつたら効果は薄くなる。現に、30年度は計画どおりに職員が削減できていない。なるべく計画どおりにしたいと思っているが、業務は年度途中で増えることもあるので、計画通りにはならないこともあるが、今のところはこの計画でいくと6,500万円という削減効果になるということです。

委員：31年度の4月人事異動はできていると思うので、実際に計画どおりになっているんですか。

事務局：計画どおりにはなっていないです。

委員：いかにこの人件費を減らしていくかがメインになると思うが、計画どおりにっていないということになると、首をかしげる人もあるのではないか。

事務局：おっしゃるとおりです。議会でもその辺を注目されていますし、そこは計画どおりにしていきたいとは思っていますが、今のところは業務の関係で減らせていないのが実情のところでございます。

委員：議論のベースとなる資料の方針が滞ってて、そういう意味ではベースにならないのが現状ではないでしょうか。職員数の推移にしても然り、削減計画の現時点の見込みについても然り、だから、いつの時代の話をしていきますか。というようにも言えるような資料の出し方ではないでしょうか。

委員：きつい見方かも知れないけど、そういう見方がここの行革審議会ではでてくるということであると思いますね。そのための会議なのですから。本当の数値でない勝負にならないという話だと思います。

事務局：4月現在の数値で報告することもできたが、そこが入っていなかったのは申し訳ないと思います。実際の数字は30年度の数字が横滑りになっているのが、現状であり、そういった数字をいれておくべきだったと反省しております。申し訳ありませんでした。

<行政改革プランの進捗管理について報告>

委員：敬老会事業の交付金ですけど、自主運営を促す制度に改善したということだが、何か反応はありましたか。昔は町全体で実施していたものを、交付金を交付する形となり、それもやめて自主運営してくれということか。

事務局：以前は町で実施していたものを、交付金を交付させていただくので、運営は各自治会で実施させていただくという意味の自主運営です。

委員：プランについて、通常は毎年進捗状況を示して、こうなっていますよ。それについて、こういった形で審議をやっていただいただけませんか。というのが、通常の会議だと思っていたもので、プランを今回初めてもらって、30年にこういったものを変えましたというような説明だと思ったのだけど、なんかもうちょっとわかりづらいなと思ったもので、お尋ねしたんですけども。本来は、もっと年度の早い時期にやってもらって、これについて30年度にこう進めたいと思ってますみたいなことがあったほうがいいと思ったんですけども。年度の終わりにやっても、何の意味があるのかなと思ったんですが、他の委員さんはどう思われますか。

事務局：今回の審議会は、30年度の取組みに対して報告させていただいて、それについてご意見をいただいたものを来年度に生かすという形にしたいと思っています。これまでは、事業棚卸しをずっとしてきました。平成20年からしてきて、29年まで全部で102事業、仕訳をしていただいて、特に27年には60事業仕分けをしていただいて、貴重なご意見をいただきました。29年にあたっては事業の選定をするのにも困るような事業で、町側として

も廃止するつもりはないんですけど、今の取組みでいいのかということの評価をいただくような棚卸しになっていたと思います。棚卸しする意義が以前のようにやめるもの、民間でするもののように選別していただくというように、明確に判断していただくというものが無くなってきて、今年度については実施していないという形になりました。みなさんからいただいたすべての提言をこのプランの各事業の提言ということで毎年改定させていただいて、これを毎年各課で見直しを行い、9月10月の段階で町長ヒアリングを実施して、取組みがどうかという確認をします。その結果が、今日のお示ししている中身になっているものです。今報告した4事業については、達成したので廃止します。残っているものについては、継続して、PDCAと言いますか、いただいた提言を基に毎年、進捗管理をしていくという形で、今後は進めていきたいと思っています。事業棚卸しというのでは、今後はしないということで考えています。委員さんの中から棚卸しは引続きするべきだとか、他のすべての取組みに対して、ここはどうなっているのかというところを、今日ご意見をいただけたらと思って開催させていただいているところです。

委員：今回の開催文書の中にこれをやってほしいみたいな先ほどの話がどこにも書いてなかった。そういうことがあっても然りではないかなと。私たちに求められているものがよくわからなかった。そのあたりをもう少しやっていただかないと、何のための会議なのかと疑問に思いました。

委員：会議の標題が第1回となっているが、これまでを振り返って、いろんな成果が出てきた。表題も少し考えていただいたら。具体的な提言等も新年度にやりますよね。表題だけちょっと工夫していただいたらよろしいかと思います。年間スケジュールみたいなものがあつたらよろしいですね。わかりやすいように資料を作っていただけたらと思います。

事務局：先ほど言われた会の趣旨ですとか、資料の説明とか、説明不足で申し訳ありませんでした。次回開催させていただく時には、その辺を明確にしてご案内させていただきます。

委員：そもそも行政改革審議会をやると思われた大元には、地方交付税が急激に減っていく中で、このままでは立ち行かないから皆さんの知恵を貸してくださいということが、大きな根底にあったと思っています。その中で30年度の成果がこうであるというのはわかりました。ミクロではなくマクロの方向性として、今後、大丈夫なんですか。元々危機感を持っていらった全体的な大きな方向性というのは、目途が立ったのか、引続き状況が変わらないのか、そういう大局観というものはどういうふうに見えてくるのでしょうか。

事務局：財政見通しは変わらない状況だと思います。引続き、削減できるものは削減していき、収入を上げるものは上げていく。引続き、緊張感を持って運営をしていかないといけないと思います。

委員：年間に2回くらいの頻度で開催していますが、忘れてしまうこともあると思いますので、3期がどういう状況であるとかそういうものがあってもいいかもしれません。もう少し連絡を密にして、今回突然開かれたと皆さん思われているようですので、もう少し工夫をお願いします。

委員：実質公債費比率は下がってきてますよね。以前は20%位で心配していたが、今はドンと下がってきてますよね。

事務局：13パーセントくらいです。

委員：審議会自体の進め方についても、これは提言としてよろしくお願いします。

<未利用町有地の売却、不要財産の売却>

委員：東園稲場団地ですけども、かなりの額で売却されていますが、実質簿価というのは黒字なのか赤字なのか教えていただきたい。売却先がわかれば教えていただきたい。

事務局：売買価格は不動産鑑定による価格です。実際儲かったかどうかというのは、2億3千万くらいで町が購入したものですので、大きくマイナスになっていますけども、購入した価格で売買というのはなかなか進まず、近隣との相場と大きな乖離があったので、適正価格と言いますか不動産鑑定の価格で、町が持っているよりは売った方がいいということで売却いたしました。売却した相手は、島根県の松江市に本社があります株式会社原商という会社です。建築資材のレンタルや福祉関係の業務をしたりということで、きちんとした拠点を設けたいというお話がありまして、将来的には支店を設けたいということでありました。

委員：早く手放されてよかったですと思っています。北栄町の工業団地の開発計画はどのように考えていますか。

事務局：稲場団地の町の土地はすべて売却してしまいました。

委員：町としては造成して、さらに増やすということは考えていないということでしょうか。

事務局：その通りです。

委員：なるべく町の方が雇用されれば安く売ってもメリットがあるのではないかなと思います。

委員：土下にあります三陽合繊はどうなっているのでしょうか。

事務局：企業誘致目的で購入したんですけど、なかなか決まっていないという段階です。議会からも塩漬けになってはいけないので、次の方策を考えるようにというご意見もいただいています。公売にかけることも検討してまして、それには解体費等の情報が必要ですので、それに係る調査費用を予算計上いたしました。

委員：町が買ったんですか。以前の職場では未利用地検討委員会とか未利用地一覧を把握していたんですが、町としては当然そのような一覧は把握しておられるんですよね。

事務局：たくさんの筆数があるので。売れそうな宅地はピックアップして把握しています。固定資産台帳は整備していますが、写真、図面とかはありません。

委員：例えば、不動産業者に委託されるとかもひとつの手だと思います。職員ではなかなか手が回らないので、不動産業者に委託して進めていくことも必要だと思います。まさかあの三陽合繊を町が買っているとは思いませんでした。経費の無駄遣いですねこれは。

事務局：三陽合繊については、早く売却したいと思っています。

委員：さきほどの話ではないけども、買った金額より安く売するような、なんのために買ったかわ

からないような話になると執行部の責任問題だと思う。本来は民間の土地なので、民間のことは民間でやるのが本来だと思います。

委員：買った理由は。

事務局：所有者が破産されていまして、管財人から安い価格で提案があったため、放っておいても何も産まれないということで、町としても企業誘致を目指して購入したものです。ちょうど河北中学校が解体を条件に公売をされていまして、それを参考にさせていただこうと考えています。

委員：三陽合繊も不動産屋さんの意見を聞きながら進めたらいいと思いますよ。見通しのあることをしないとよろしくないと思います。

委員：色々な意見もあると思いますが、こういったことは仕訳の時にイエス、ノーで答えてもらうというのもひとつの方法かと思います。

委員：町内の町営住宅がほとんどで足りているかどうか。入りたくても入れないという方もあるかもしれない。団地を建設するというような方向にはならないかなと思ったところです。

事務局：由良宿団地に3棟建設しています。全部で60戸整備します。もうすぐ2棟完成するが、今の入居者はその2棟に入居できると聞いています。最後の1棟で新たに募集をすると聞いています。町としてはそれ以上増やすことは考えていないところであります。

委員：いろいろご意見をいただきましたが、これからどう進めていくかは事務局のほうで検討いただくということでお願いします。最後に各委員から振返って一言お願いします。

委員：初めて参加させていただきましたが、人件費がどうか細々したことではなく、もっと大きなことをしてみることも大事だと思います。企業誘致なら企業誘致の担当課を充実させて、開発と誘致が合致するような政策を進めていただきたい。

委員：本日の会議は審議会ではなく、今年度の報告を聞かされる会だということでした。もうちょっと会のあり方を検討されてはどうかというのが今日の感想です。

委員：言わせていただいたので、特にないです。

委員：審議会が久しぶりでしたので、今までのことも思い出しながら、本日の資料も事前にもっと目を通しておくべきだったなと思いますけども、何を言っているのかというのは今日の場合は私自身ははっきりとわからないという状況でした。自分としても申し訳ないという気持ちです。

委員：私は60事業の仕訳の時に参加させていただいて、大変苦労したなと思っていただけども、この行政改革で最初に委員先生も仰っていらっしゃいましたが、国からの予算がとに

かく下りなくなる。だから、財政が本当に困るから棚卸ししなければいけないということからスタートしたような気がしていますが、それが今どうなっているのか。本当に予算がなくなっただ中で、この行政改革をしたことでどうなったかを、もっと私たちに見える化してもらわないと、この資料を見ただけでは、ちょっと見方もわからなかったですし、全体的にどうなってるの、大丈夫なのというのを報告していただいてもいいんですけど、教えていただいたらありがたいなと思いました。

委員：本当に財政が苦しいんだったら、もう少し町民に苦しさをわかってほしくて、結構、大盤振舞い、使用料なんか無料とかやっているんだけど、もう少し町民からもお金をもらってもいいところがいっぱいあると私は思っています。もっと町民に対してこれだけ苦しいんだから、もうちょっと町民のみなさんも協力して財政の使い方を考えましょうということがあってもいいのではと思いました。

事務局：本日は、会の目的がきちっと設定できずに開催してしまっただけで申し訳ありませんでした。次回は目的なり、全体の財政状況も見えるようにさせていただきたいと思います。今後こういったことをしたほうがいいとか皆さんで何かご意見があれば、事務局に教えていただければと思います。会の中でも申しましたが、事業棚卸しは休止ということで来年度も予定はしていないということだけは報告させていただきたいと思います。